

子どもたちが
嬉しげに笑ってくれると

社会福祉法人ともえ福祉会
理事長 清水ひとみ



コラム連載 Vol.05

新しい園舎で：

ともえ保育園は一九七六（昭和五十一）年に開園し、創立五十周年を迎えます。かねてから進めていた園舎建替えも無事完成し、二月三日から新園舎で保育が始まりました。

園舎は、子どもにとっても職員にとっても生活の場です。新園舎の床は広島県産の杉を使い、壁と天井は珪藻土に無農薬の塗料を入れて塗って、自然調湿の居心地のよい空間になりました。

五十年前とは世の中の状況が変わり、生活も価値感もすっかり変わりました。保育の場も時代に合わせた設計を考えなければなりません。

何より大切なのは、子どもの安全対策です。出入口には顔認証システムを採用し、セキュリティを強化しました。他にも、誰もが自由に出入りできた時代には予想もなかったシステムがいくつも必要になりました。

「神様！変えるべきものを変える勇氣、変えてはならないものと変えるべきものを区別する賢さを与えてください！」と思わず神頼み。そんな心境の今日この頃です。

そんなふうにはハード面での変えるべき案件が数々ありましたが、ソフト面では変えない、いえ、変えてはならないものがたくさんあります。

例えば、手や机などが汚れずにお絵かきができるという、イマドキの保育施設向けのハイテクアイテム。ともえ保育園では使いません。絵を描く楽しさや達成感と同じでも、クレヨンや色鉛筆、絵の具を使って描けば、手や洋服、机が汚れることもあります。その状態が心地悪いと感じれば、汚れないようにするにはどうしたらいいのかを考えて工夫したり、汚れてしまっても、その始末の仕方を学んだりするのです。

汚れるということを知ることでも大事なことです。上手に描くことよりも、絵を描くことから起こることを体験し、学ぶことの方が子どもの可能性を大きく伸ばすのです。それが子どもの成長なのです。

今日も子どもたちは元気にやってきて、無邪気に過ごしています。保育園は社会の縮図。子どもたちはお互いを理解し、ケンカもするけど助け合い、補い合いながら仲よく過ごしています。大人の私たちも見習いたいものです。

私たちのかかわる
全ての人が
幸せだと言える社会をつくる

社会福祉法人ともえ福祉会は「私たちのかかわる全ての人が幸せだと言える社会をつくる」を理念に、ともえ保育園、特別養護老人ホーム ともえの家などを運営しています。

ともえ保育園では**夢と希望**をテーマに未来ある子どもの育成に力を注いでいます。ありがとうございます。ごめんなさい。おねがいします。を言える「仲良く遊べる元気な子」を育てます。

特別養護老人ホーム ともえの家では**愛と感謝**をテーマに、個人個人が人としての尊厳を持ち、社会の中で障害の有無や年齢、性別にかかわらず、かけがえのない人としての生活を送ることができるよう支援しています。

地域とかかわりあいながら皆様のお役に立ちたい私たちです。

社会福祉法人ともえ福祉会

ともえ保育園

〒730-0001 広島市中区白島北町 18-5
TEL082-228-6088

特別養護老人ホーム ともえの家

〒733-0852 広島市西区鈴が峰町 41-18
TEL082-270-0145

